

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成18年4月

(平成18年3月末調査)

平成18年4月14日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

**諏訪信用金庫
経営相談室**

電話 0266(23)4567(代)

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率 【2月】	諏訪公共職業安定所管内	1.30 倍	0.08 ポイント
	岡谷公共職業安定所管内	1.66 倍	0.40 ポイント
手形交換高【3月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	13,416 枚	10.0 %
	金 額	15,851 百万円	10.7 %
うち不渡り発生状況	枚 数	6 枚	7 枚
	金 額	3,827 千円	1,843 千円
車庫証明取扱件数【3月】 (諏訪・岡谷家用自動車協会管内)		2,154 件	10.0 %
新設住宅着工件数(17年4月~18年2月) (諏訪地方事務所管内)		1,912 件	1.2 %

概 況

地域の製造業

輸送用機械、産業機械関連企業は引き続き高水準の生産を続け、携帯電話や光学機器部品、プリント基板などに受注増加企業が見られる。在庫調整から組立加工など一部に受注が減少した企業が見られるが全体として生産状況は高水準となっている。

自動車関連下請企業の受注は安定しており、原材料の値上がりや受注単価引き下げなどの課題を抱えながらも高水準の生産が続いている。

省力化、自動化、専用機や検査装置など設備関連企業の受注は高水準で海外向けの受注が増えている。

工作機械は海外出荷を含め引き続き順調な生産が続いている。

地域製造業は一部に受注が減少した企業もみられ、原油価格の高止まりや金属材料の値上がりなどコスト対応に課題もみられるが、受注動向や雇用状況からみて全体として景況は引き続き回復している。

商業

3月は数日の周期で天気が変わり寒暖の差が大きく週末崩れるなど商業活動に影響がみられた。春物衣料や出足が遅れていた新生活商品など前年を上回る売れ行きの商品もみられたが総体では幾分低調となっている。

食料品は店舗間競争が激しく、チラシや広告により店舗を移動する消費者もみられた。週末に天候が崩れた影響を受け来店客数が減少した店舗や客単価が下がった店舗がみられた。

衣料品は、寒暖の差が大きく天候には恵まれなかったものの春物女性衣料や紳士服など順調

な売れ行きをみせた店舗がみられた。

大型家電店は、大型薄型TVが引き続き堅調な動きをみせ新生活商品の売行きも順調で総体では前年を幾分上回る売れ行きだった。

ホームセンターは、新年度を前に新生活商品の動きが順調で前年を上回る売れ行きだった模様。

観光

3月は週末の天気が安定しなかったことや寒暖の差が大きく観光地は天候の影響を受けた。

宿泊客は旅館・ホテルにより増加減少区々で、総体では前月を上回っているが前年比では幾分割り込んだ模様。団塊の世代の少人数旅行などが幾分増えており部屋稼働率は幾分高くなったホテル・旅館がみられた。

上諏訪の旅館・ホテルの宿泊客は施設により増加減少区々となっている。総体では前月より相当数増加し、前年比では若干の増となった模様。

蓼科・白樺湖・車山方面の宿泊客も増加減少区々となっているが、スキー客が減少したことから総体では前年を割り込んだ模様。

下諏訪温泉の宿泊客は前月より幾分増加し平年並みとなっている。

諏訪大社の参拝者は上社 22 千人、下社 22 千人で前年を上回る参拝者となっており、上社は下旬に向け個人参拝者が増え、秋宮の参拝者は団体が多くなっている。

建設業

市町村の3月の発注工事は712百万円で前年同月比491百万円増加した。地元企業への県発注工事は804百万円で、前年同月比386百万円増加した。県・市町村合わせた3月の公共工事の地元企業受注額は、1,516百万円で前年同月比877百万円増加した。

民間工事は2月の新設住宅着工件数は93戸で前年同月比12戸増加した。17年4月～18年2月の累計着工戸数は1,912戸で前年同期の累計着工戸数に比べ26戸増加した。建築工事は民間工事が幾分増加しており予定の受注量を確保したところもみられるが土木工事は依然低調となっている。

雇用

2月の有効求人倍率は、諏訪公共職業安定所1.30倍、岡谷公共職業安定所1.66倍で諏訪地域の有効求人倍率は1.43倍と長野県の1.18倍を上回っている。諏訪職安、岡谷職安合わせた2月の新規求人(全数)は1,588人で前月より135人減少した。製造業からの新規求人は447人で前月より51人減少しサービス業は321人で前月比77人となっている。

地域の有効求人倍率は平成15年10月以降29ヶ月連続して1倍台を維持している。

当金庫から見た需資動向に大きな変化はみられない。

業種別動向

1. 電気機器
 - プリント基板 携帯電話、パソコン、デジタル家電などの基板は高水準の生産が続いており全体として受注は幾分増加している。
 - コンデンサー フィルムコンデンサーの受注は増加している。
 - プリンター 下請け企業の受注状況は区々で、部品加工など増加しているところもみられるが組み立ては幾分減少している。
 - コンダクター・リレー 受注は幾分増加しており堅調な生産が続いている。
2. 輸送用機械
 - 自動車 国内メーカーは安定した生産を続けており下請け企業の生産は高水準となっている。
二輪車部品の受注は横ばい状況となっている。
 - ピストンリング・シリンダーライナー メーカーは順調な生産を続けており下請け企業の受注は安定している。
 - 船外機 輸出が順調で外注企業は高水準の生産を続けている。
3. 一般機械
 - 工作機械 自動車部品やO A部品の加工機械は引続き堅調な生産を続けている。
専用機械、省力化機械など産業機械の受注は安定しており高水準の生産を続けている。
 - 搬送用機械 デジタル家電企業や食品企業などの受注によりフル稼働の生産が続いている。
 - 金型 情報機器や音響機器の金型受注は機種により増減区々となっている。
高水準のまま横這い状況のところもみられ総じては増加傾向となっている。
 - アルミダイキャスト 自動車部品や電源機部品など高水準の生産を続けているところがみられる。受注状況は区々で総体としては増加している。
4. カメラ・レンズ
 - デジタルカメラ デジタルカメラの2月の生産台数は500万台で、前月比24.4%、前年同月比17.2%の増加となっている。2月の出荷台数は国内出荷64万台、輸出426万台で出荷台数全体では前月比27.3%、前年同月比16.1%の増となっている。(カメラ映像機器工業会)
海外生産が主流となっており地域の下請企業の受注状況は区々となっている。高級1眼レフの金属加工の受注が大幅に増加し地域の下請け企業の生産状況は高水準となっている。
 - プロジェクター メーカー各社の海外生産比率が高まり下請け企業の受注は減少しており前年同期比では大幅に減少している。
 - デジタルミニラボ 普及率が高くなっていることから出荷が弱含みとなり、生産台数は減少している。

- レ ン ズ ガラスレンズの生産は海外が主体となっている。国内のガラスレンズの生産量は減少しており総体でも幾分減少傾向となっている。
- 5 . 織 維
ニ ッ ト 春・夏物ニットの本格的な生産時期に入っている。専門店からの発注は売れ筋をみての発注がふえており短納期小ロットのため繁忙のところがみられる。
ホールガーメントの受注は安定し順調な稼働となっている。
- 6 . 食 品
寒 天 需要が旺盛で出荷調整に苦慮するところもみられ、今シーズンの増産も在庫不足解消にまでは至っていない模様。
原料の天草が値上がりしたことから価格転嫁も検討されている。
- 味 噌 出荷は横ばい状況となっている。
- 7 . 製 材
 諏訪地域の2月の木造住宅着工件数は61戸で前月比 8戸減少した。合板は都心地域の需要が高く原油高騰による輸送コスト高の影響などから幾分値上がりしている。輸入材は原油高騰などから10%程度値上がりした。
- 8 . 建 設
公 共 工 事 3月に地元業者が受注した県関係公共工事は、発注機関別では諏訪建設事務所14件、林道治山工事関係3件、他土木工事1件合わせて18件、契約金額804百万円で前年3月比386百万円の増となったが17.4月～18.3月の累計契約額は3,524百万円で前年同期累計比 782百万円の減少となっている。
市町村発注工事は、建築工事15件562百万円、土木工事・下水道工事など19件36百万円、その他工事12件113百万円で合計46件712百万円で前年3月に比べ491百万円増加した。
- 民 間 工 事 2月の新設住宅着工件数は93戸で、前年2月比12戸増加した。
17年4月から18年2月の累計着工件数は1,912戸で前年同月累計比26戸増となっている。
建築工事は動きが見られるが、土木工事は低調に推移している。

9. 商業

諏訪地方の3月の天候は周期的にvari寒暖の差が大きく週末崩れたことなどから商業活動に影響がみられた。

春物衣料や新生活商品は前年を上回る売り上げの店舗がみられたが食料品など競争が激しく販売品目により明暗が分かれている。

衣 料	寒暖の差が大きく天候には恵まれなかったものの日照時間が延び、春物衣料は女性衣料、紳士服などの売れ行きは順調で前年を上回った店舗がみられた。
食 料 品	店舗間競争が続キチラシ、広告により消費者が店舗を移動して購入するなどの動きが続いている。購入点数が伸びず食料品の売れ行きは幾分低調であった。
電 気 機 器	薄型大型TVは堅調な売れ行きをみせ新生活関連電器器具の売れ行きは順調で前年を上回った模様。
自 動 車	諏訪・岡谷を合わせた3月の車庫証明件数(軽自動車除く)は2,154台で、前月比805台減少し、前年同月比241台(10.0%)減少した。軽自動車は引き続き好調な売れ行きをみせているが、新社会人の小型乗用車の購入が幾分低調となっている。
ホームセンター	新年度を前に新生活商品の動きが順調で総体の売れ行きは前年を上回った模様。
デパート	来店客数は前年より大幅に増加しており紳士服、女性衣料、雑貨など順調な売れ行きを見せた。

10. 観光

今シーズンは12月初旬の降雪でスキー場のオープンが早まったことなどからスキー客の入り込みが多く例年を上回る賑わいを見せたが原油高などの影響から収益回復までにはいたらなかった模様。3月は天候の影響を受け観光地は幾分低調だった。

宿泊客は施設により区々で前月比増加したところが見られるが、全体では前年同期を幾分割り込んだ模様。

上 諏 訪 温 泉	宿泊客は旅館・ホテルにより増加減少区々となっている。団体客は減少傾向となっているが団塊の世代の少人数旅行など幾分増えてきており部屋稼働率が高まったところがみられ、総体では前月比相当数増えているが前年同期比では若干の増となった模様。
蓼科・白樺湖・車山	3月は前月に続き天候に恵まれず週末の天候が安定しなかったことからスキー場は影響を受けた。宿泊客は旅館、ホテルなど施設により増加減少区々となっており、総体では前年同期を若干割り込んだ模様。
下 諏 訪 温 泉	宿泊客は増加、減少区々となっており総体では前月比では増加しているが前年同期並みとなっている。
諏 訪 大 社	参拝客の少ない月となっており上社・下社合わせて参拝客は45,353人で前年同期比8,021人増加した。

トピックス

最近の長野県経済の動向

(2006年4月3日) 日本銀行松本支店

2006年2月の主要経済統計および企業ヒアリングを中心に取りまとめ。

長野県経済は、緩やかな回復が続いている。
足もとの最終需要の動向をみると、**設備投資**は、05年度下期実績見込が製造業を中心に前年を上回った後、06年度上期が前年に比べ大幅な増額計画となっているなど、増加基調をたどっている。**輸出**も、05年度下期実績見込および06年度計画が前年を上回る見通しにあるなど、回復している。また、**住宅投資**は、市部を中心に増加しているほか、**個人消費**は、乗用車販売および衣料品が弱めの動きとなっているが、食料品や家電製品を中心に基調としては底堅い動きが続いている。一方、**公共投資**は、市町村発注分の減少を主因に、前年を下回った。

以上のような最終需要のもとで、生産は、産業機械向けおよび自動車向けが高水準の生産を維持しているほか、IT関連財の生産も着実に回復している。また、雇用面をみると、転職機会の拡大を眺めて求職者数が増加した中で、企業活動の活発化を映じて新規求人数が増加していることから、有効求人倍率は高いレベルを維持している。一方、所得面は所定内給与の増加が続いているほか、所定外給与も伸びが高まるなど、着実に改善している。こうした中、企業収益は、05年度下期実績見込みが下方修正された後、続く06年度上期は増益の計画となっている。

個別業界の動向

(生産)

半導体関連では、半導体素子がデジタル家電向けを中心に生産水準を引き上げているほか、シリコンウエハも自動車関連・デジタル家電向けを中心に高水準の生産を続けている。この間、リードフレームの生産は、横ばいで推移している。

電子部品では、抵抗器の生産は、デジタル家電、携帯電話向けを中心に高水準を維持しており、コンデンサの生産も上向いている。また、モーターの生産は、横ばいで推移している。

情報機器では、プリンターは、複合機タイプの販売堅調を背景に、また、県内生産分のパソコン(ノートブック型)も、デザイン性を重視した新モデルの販売堅調を受けて、高目の生産水準を維持している。一方、デジタルカメラは、販売の伸び悩みを受けて、生産は低調に推移している。

時計では、完成品が、海外生産シフトの影響から、また、ムーブメントも、海外向けの伸び悩みや価格競争の激化を受けて、基調としては低調な生産をつづけている。

自動車部品は、国内向けが販売台数の減少を受けてやや鈍化しているものの、引き続き海外向けが増加基調にあることから、全体として高水準の生産が続いている。

工作機械は、国内外の自動車向けや情報関連機器向けを中心に、高水準の生産を維持している。

計器は、国内の産業機械向けが堅調に推移しているほか、半導体関連向けも増加している一方、国内外の自動車向けが伸び悩んでいることから、生産は横ばい圏内で推移している。

バルブは、ウエイトの高い国内外の産業機械向けおよび国内の住宅向けが好調を持続していることから、高水準の生産が続いている。

味噌の出荷は、横ばい圏内で推移している。

(個人消費)

県内大型小売店(百貨店、スーパー)売上高(当店調べ<店舗調整前>)をみると、衣料品は、2月中旬以降の気温上昇を受けて、冬物衣料を中心に引き続き前年を下回った。もっとも、ウエイトの高い食料品は、野菜価格の上昇が一段落した中で、前年を上回る売れ行きが続いているほか、身の回り品もブランド・テナント出店効果等により主力の婦人向け商品が好調に推移したことから、全体では再び前年を上回った。

家電販売は、デジタル家電や白物家電が好調を持続しているほか、パソコンの売れ行きも安定しており、全体では堅調な販売が続いている。

自動車販売をみると、軽四輪が新型車投入効果等により全年を上回ったものの、小型車および普通車が引き続き減少したことから、全体では再び前年を下回った。

(建設)

県内建設関連企業における**民間工事新規受注額**は、県外業者との競争が続いているものの、小型の設備投資案件のほか、県内都市部の再開発案件もみられるなど、持ち直しつつある。

公共工事請負額は、市町村発注分が減少したことから、前年を下回った。

住宅着工戸数は、貸家や持家の着工が市部を中心に増加している。